

# 「農業技術の匠」： <sup>きよと</sup>清都 <sup>がずふみ</sup>和文さん（ 富山県高岡市 ）

## ～ 高品質・大規模球根生産機械化一貫体系の確立と オリジナル品種の育成 ～



〔清都 和文さん〕

### 1 技術確立の背景(目的)

清都さんは、球根の輸入自由化に対応するため、規模拡大を進めながら、チューリップ球根の栽培に取り組んできました。

規模拡大に対応するためには、①生産調整を行っている水田を借地として提供を受ける必要があり、球根栽培後の地力減耗を極力押さえることが求められること、②規模拡大に対応した生産体制を実現できる機械化一貫体系が必要であること、③付加価値の高いオリジナル品種を活用した販路拡大を目指す必要があることから、取組を始めました。

### 2 技術概要(技術効果)

#### (1) 球根栽培後の地力減耗対策

堆肥散布と緑肥すき込みによる地力減耗対策を確立し、農地提供者からの信頼を得ることにより、球根栽培ほ場の安定的な確保につながっています。

#### (2) 機械化一貫体系の確立

植え付けから掘り取り、水洗、乾燥、調整出荷まで大規模生産に対応した機械化一貫体系を確立し、作業能率の向上や品質低下の防止による高品質化を図っています。

#### (3) 新品種の育成

付加価値の高い新品種を選抜、育成し、球根栽培の盛んな富山県のチューリップ球根の販売戦略にも大きく寄与しています。

これにより、日本一の大規模球根栽培(8ha)を実現しました。

### 3 技術の地域への活用状況(普及状況)

清都さんの技術は、規模拡大に限界を感じていた生産者への規模拡大意欲の向上につながり、地力減耗対策や機械化一貫体系の技術が、少しずつ大規模生産者に浸透してきています。

また、育成した新品種は、収量が高いことや、オリジナル性による付加価値が期待できることから、生産現場に認知されはじめてきています。

水稻の生産調整が避けられない地域において、水稻とチューリップ球根栽培を組み合わせた栽培体系の確立により、地域全体のほ場の有効活用につながることから、チューリップ球根生産の振興とともに地域農業への活用が期待されています。



〔春のかざぐるま(育成品種)〕

※最寄りの普及指導センター { 富山県高岡農林振興センター  
住所：富山県高岡市赤祖父211  
TEL：0766-26-8474 (担い手支援課)

## <「農業技術の匠」のポイント>

### 規模拡大を可能にした生産技術体系

- ① 収穫後に地力消耗が著しいチューリップ球根栽培において、収穫後に牛糞堆肥の散布と緑肥（ソルゴー、クロタラリア）の栽培・すき込みを併用して行うことにより、その影響を最低限に抑える。（球根栽培後の地力減耗対策）
- ② ポテカルゴ（いも類等自走式収穫機）を改良して、掘り取り・収納の一貫作業を効率的に行うとともに、球根乾燥には大量処理のできるビックボックス（底面に穴の開いた巨大な保管箱）を新たに導入し、インバータを用いて風量調整ができる送風機を活用することで、球根の乾燥ムラをなくす。  
これらの機械・施設等を組み入れることで、大規模生産に対応した機械化一貫生産技術体系を確立している。
- ③ 既存品種の特徴（花形、花色、開花時期）や消費者ニーズを把握した上で、突然変異株の選抜や交配による効率かつ効果的な新品種育成に取り組む。  
これにより付加価値の高いオリジナル品種を多数育成している。（新品種の育成）

### <チューリップ球根生産機械化一貫体系>

